

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年9月17日第142号—

<目次>

●危険なJR橋梁下の堤防の抜本的対策を

■子ども医療費—住んでいるところで、医療費の窓口負担に差があるなんておかしくない？

—

▲お知らせコーナー

① 9/17 水害問題学習会「あれから5年、多摩川の安全は確保されたか。」

② 9/23 等々力緑地再整備を考える学習と調査のつどい

③ 9/29 おひさまフェス・星空上映会

④ 10/4 台風19号多摩川水害5周年フォーラム

⑤ 10/12 あれから5年、多摩川危険箇所及早急な改善を！住民大会

⑥ 10/27 ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

⑦ 11/4 子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」

⑧ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

★編集後記

●危険なJR橋梁下の堤防の抜本的対策を

2019年10月の台風19号は、多摩川でも大洪水をもたらし、JR東海道線・京浜東北線の橋梁下の低くて狭い堤防から多摩川の水があふれだし、一步間違えれば、幸区も川崎区も水浸しになる危機に直面していました。

この箇所は、堤防が低く狭いだけでなく、護岸に木が生え、亀裂が各所にあり、決壊の危険もあります。

「安全で親しめる多摩川を求める会」は、これまでに繰り返し、国と川崎市に、堤防のかさ上げと拡幅をもとめてきました。

5年たった今年の6月に、川崎市が臨時対応として、高さ約1メートル、幅約40～50センチメートルの「堰板」を設置しました。

一步前進ではありますが、国の基準ではこの箇所の堤防に必要な幅(天端幅)は6mが必要で、設置された堰板の幅ではとても足りません。

これでは、多摩川が2019年並みに増水した場合には、この堰板で受け止めていられるのか、きわめて心配です。

7月29日に、「安全で親しめる多摩川を求める会」と日本共産党川崎市議団は、斉藤鉄夫国交相宛てに「多摩川堤防の治水対策を求める要請書」を国会内で提出し、国交省の担当者と懇談しました。

要請は、国民の安全・安心の確保は国の責務であるとして、護岸の改修、堤防の補修、かさ上げと拡幅などの治水対策・強化を早急を実施するよう求めています。

懇談では、水管理・国土保全局治水課の三枝伸太郎課長補佐が「維持管理をしっかりとやり、必要な箇所の整備は順次進めていく。堤防のかさ上げと拡幅は、鉄道事業者と協議しながら、調整を進める」と答えました。

この懇談で、国交省の担当者と参加者の間で、驚くべきやりとりがありました。

参加者「2019年の東日本台風で、JR鉄橋下の堤防の低い部分から水が溢れたという事実を受けとめていますか。」

担当者「国道409号に水がたまっていたのは確認したが、堤防から溢れだしたものかどうかは確認できていない。」

参加者「では、どこから水が出たのですか。」

担当者「確認できていません。」

越水の跡も、越水の写真もあります。この箇所ほど重要かつ危険な場所はないはずで緊急な対応が必要です。

しかし、台風19号水害から、5年もたっているのに、国交省は、いまだに越水の実事も認めようとせず、抜本的対策も遅々として進んでいません。

気候変動のもと、雨の降り方も激変しています。

このままではいつ大洪水に見舞われるかわかりません。

8月末の台風10号でも、多摩川河川敷は、幸区から多摩区まで広範囲に冠水し、マラソンコースや野球グラウンド場などに大きな被害が出て、完全復旧は11月になると川崎市が発表しています。

国交省にまかせては、市民のいのちと暮らしは守れません。

地域住民は、「多摩川洪水危険箇所の早期改善を求める会(仮称)」を結成し、10月12日(土)14時から、幸区の見晴らし公園で、住民大会を開催し、国交省京浜河川事務所への要請行動を行います。 (H)

■住んでいるところで、医療費の窓口負担に差があるなんておかしくない？

<県内 32 自治体で、18 歳まで子ども医療費窓口負担ゼロが実現>

18 歳までの子ども医療費の無料化制度の拡充は、今年 4 月に、藤沢市、二宮町、7 月に茅ヶ崎市、8 月に相模原市が実施しました。

そして、10 月 1 日からは、小田原市、秦野市、伊勢原市が実施します。

これで、県内 34 自治体中、中学卒業までで無料化ストップは、横浜と川崎だけになりました。

神奈川県が、小学校卒業まで拡充し、その範囲での自治体への財政援助が増額になったことが大きな理由です。

横浜と川崎は、人口も多いから拡充が遅れているのかと思いがちですが、「住んでいるところで、医療費の窓口負担に差があるなんておかしくない？」という疑問の声が上がるのは当然ではないでしょうか。

現在、子ども医療費助成制度を国に求める全国ネットワークは、「国の制度として、18 歳までの医療費窓口負担を無料に」全国署名を開始し、来年 4 月に国会に提出します。

<いまだに小学生からも一部負担金を徴収する川崎市>

川崎市の子ども医療費制度の立ち遅れのもう一つは、依然として川崎市は、小学校 4 年生から中学 3 年まで、1 回ごとに 500 円の一部負担金を取ることです。

この一部負担金を取る自治体は、県内で川崎市と相模原市です。

ただ、相模原市は中学 1 年から 18 歳まで一部負担金を取りますが、小学生は完全無料です。

10 月以降、川崎市のこども医療費助成制度(対象年齢が中学卒まで、一部負担金 500 円を小学校 4 年から)は、完全に県内最悪になってしまいます。

いよいよ、「住んでいるところで、医療費の窓口負担に差があるなんておかしい！」と子育て世代が怒るのも当然です。

<9 月の川崎市議会では>

9 月の川崎市議会の代表質問で、みらい会派と共産党が、制度の拡充を追求しましたが、川崎市側は、今までと全く同じ理由で、一部負担金は継続し、18 歳までの拡充はしないと答弁しています。

答弁要旨は以下です。

- 本来自治体間で差異のある取組ではなく、国の責任で全国一律の制度として構築すべきであり、国に対して要望してきた。
- 対象年齢については、昨年9月の制度拡充をしたので、引き続き、助成状況の分析を行いながら、取組を着実に推進する。
- 一部負担金については、持続可能な制度の在り方を考える上で、制度を利用する方には一定のご負担をいただき、財源の確保と併せて、本制度の利益を受けない方との負担の公平性や適正な受診を担保する視点も必要であり、それにより制度の安定的かつ継続的な運用が図られたため、維持していく。

この川崎市の答弁は、何度読んでも理解できない、おかしい理屈ではないでしょうか。

第1に、一部負担金をなくしても、他の自治体は助成制度を維持し、充実させています。
なぜ、川崎市だけが、一部負担金をなくすと制度が維持できなくなるのでしょうか。

第2に、利益を受けない方との負担の公平性の視点と言う理屈が通用するなら、だれでも必要な時に利用できる社会保障制度は、成り立たなくなるでしょう。

「公平性」は、昨年、川崎市がぜんそく患者医療費助成制度と小児ぜん息患者医療費支給制度を廃止した理由の一つでした。

県内最悪の子ども医療費助成制度の改善のためには、市民の声を、繰り返し何度も川崎市と市議会にとどけていくことが必要です。

現在、新たな陳情署名の取り組みを、川崎民主市政をつくる会も加わって準備しています。

市内の各所から、「18歳までの医療費窓口負担を無料に！」の声をあげていきましょう。

(川崎民主市政をつくる会事務局)

★お知らせコーナー

①水害問題学習会

「あれから5年 多摩川の安全は確保されたか？」

9月17日(火)18:00から

産業振興会館第2研修室*

講師 中山幸男(国土交通省 OB)

問合せ 080-5653-6196(坂内)

[詳しくはこちら](#)

②等々力緑地再整備を考える学習と調査のつどい

9/23(月祝) 9:30～13:30

会場:とどろき会館大会議室

資料代 300 円

第1部 9:30～11:15

講演:尾林芳匡:八王子合同法律事務所弁護士

昼食・休憩 11:20～12:00 (会議室にて、昼食は各自用意)

第2部 12:00～13:15

調査のまとめと今後の取り組みの相談

主催 川崎民主市政をつくる中原区の会

共催/川崎民主市政をつくる会(全市)

連絡先 伊藤求 090-1900-4406

市古博一 090-7830-8030

[詳しくはこちら](#)

https://newkawasaki.jp/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/ailec_event-3507/?instance_id=335

③第10回おひさまフェス×星空上映会

市民がつくった電気を使って、音楽イベントと映画上映会。

暮らしたい未来は自分達で創ろう!

9/29(日)12:00～19:00 雨天中止

二ヶ領せせらぎ館下の多摩川河川敷(JR 登戸駅下車、徒歩8分)

入場無料

連絡先 高橋 044-722-6766

[公式サイト](#)

④台風19号多摩川水害5周年フォーラム

10/4(金)18:30 開始

川崎市総合自治会館ホール

詳しくはこちら

[公式サイト](#)

⑤あれから5年、多摩川危険箇所の早急な改善を！住民大会

10/12(土)14:00 から

幸区みはらし公園

連絡先 坂内(080-5653-6196) 中山(080-5092-5456)

⑥ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

10/27

① 9時

② 12時

③ 15時(監督アフタートーク)

④ 18時

場所:かわさきゆめホール

前売予約:1,000円

当日:1,500円

障がい者・学生以下:500円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

[詳しくはこちら](#)

⑦子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」

11/4(月祝)

① 10時

② 12時半

③ 15時

④ 17時半

会場:かわさきゆめホール

前売券:一般 800円／障がい者 400円／学生・子ども 200円

当日券:一般 1,000 円／障がい者 500 円／学生・子ども 300 円

お申込:044-433-3003 ゆめホール／kodomomiraisyukai@yahoo.co.jp

問合せ:事務局・船津了 Tel・Fax:044-434-4290

主催:子どもの未来をひらく川崎集会実行委員会

協力:ゆめホールシネマ倶楽部

後援:川崎市／川崎市教育委員会

[詳しくはこちら](#)

⑧京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29 より

会場:スペース京浜

前売り券:一般 3,500 円、障がい者・学生 2,000 円

当日券:各 500 円増

[公式サイト](#)

★編集後記

—映画「福田村事件」を観て—

9月13日、ゆめホールシネマ倶楽部が企画した映画「福田村事件」を観ました。

上映時間 137 分という長編でしたが、一瞬も目を離せない展開の連続で、最後まであっという間だった気がします。

一言でいえば、「本当にすごい映画だった！」のです。

福田村事件とは、1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災後の混乱に乗じて、千葉県福田村(現在の野田市)で起きた悲惨な事件です。

関東大震災直後、デマや混乱によって「朝鮮人が井戸に毒を投げ込んだり、放火したりしている」と言った噂が広まり、各地で朝鮮人に対する暴行や殺害事件が発生しました。

1923 年 9 月 6 日、福田村で、自警団が村を警戒していたところ、香川から来た菓売りの一行が香川弁を話していたことから朝鮮人と誤認され、自警団によって竹やりや鉄砲で襲撃され、殺されました。

心に残ったシーンを1つ紹介します。

映画では、「この人たちは日本人だ、薬売りだ」と、集団による殺害を止めようとした少数の人々の行動を描きます。

それに対し、薬売りの集団の親方が「朝鮮人なら殺していいのか！」と叫ぶのです。

薬売りの一行は、部落出身者でした。

差別の底辺に位置していたからこそ、親方はこう叫ぶことができたのでしょう。

そして、親方は水平社の人間宣言を知っていたのです。

しかし、映画では、この叫びがきっかけになり、真っ先に殺され、これが引き金になって集団殺戮が始まってしまいます。

差別された自分の体験にもとづく平等の思想の強さに心が震えました。

そして、差別をつくりだしている権力とメディアを見抜く理性をつけていきたいと強く思いました。

映画のチラシは、次のような言葉で終わっています。

「行き交う情報に惑わされ生存への不安や恐怖に煽られた時、集団心理は加速し、群衆は暴走する。

これは単なる過去の事件では終われない、今を生きるわたしたちの物語。」(H)

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/VxkcflxuTNiC?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp